

槍ヶ岳山行報告



【山行日】 2016年7月29日～31日(金～日)

【集 合】 岩舟支所 P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 28,000円

【メンバー】 CL:鈴木 大西、香川、津佐、藤原、松館、渡辺

29日 曇り時々晴れ 中房温泉登山口から合戦尾根を登り、燕山荘から大天井ヒュッテへ

岩舟支所P3:00＝安曇観光タクシー＝5:30/5:50＝

中房温泉登山口 6:40/7:00～合戦小屋 10:05/10:20～

燕山荘 11:40/12:20～大下りの頭 13:20～喜作レリーフ 15:10～大天井ヒュッテ 16:20

今年の夏山アルプス山行第一弾は、表銀座から槍ヶ岳への展望の尾根歩きを計画した。安曇観光タクシーに車の回送をお願いし、ワゴンタクシーで中房温泉まで送ってもらう。駐車場入り口にある登山届ボックスに登山届を入れ、登山口のトイレ脇でストレッチを行う。いよいよ日本三大急登の合戦尾根に取りつく。合戦尾根は、中房温泉登山口から主稜線に建つ燕山荘まで約5.5Km、標高差1240mの登り。深い樹林帯の登山道を登り、まずは第一ベンチで小休止する。続いて第二ベンチ、第三ベンチと休憩をとりながら高度を上げ、富士見ベンチまでたどり着く。ここまで来ると、皆さんも疲労の色が濃くなり梅干しやアミノバイタルで、失った塩分を補給する。途中で追い越されたグループも疲れた様子で、自分たちのペースを守った我々が先に出る。ようやく合戦小屋に着き、皆が楽しみにしていた名物スイカにかぶりつく。ゆっくり休憩し、トイレを済ませて燕山荘を目指す。ところが合戦小屋を出て10分くらい登った所で、M喜ちゃんの足が攣ってしまう。しばし休憩し、馬油を塗ってマッサージし漢方薬を服用すると回復し、ゆっくりと登り始める。



合戦ノ頭あたりから青空も見えるようになったが、槍の穂先は雲で見えなかった。ハクサンフウロやウ



サギギク、ミヤマキンポウゲ等の花に励まされ燕山荘までもう一息。燕山荘を見ながら、緩やかに登り燕山荘直下のお花畑の斜面を横切ると、キャンプ場から燕岳主稜線に出る。天気が良ければ、来週登る三俣蓮華山や鷲羽岳、水晶岳の大パノラマが広がるが、今日は雲に隠れて見ることが出来なかった。燕山荘脇のベンチでランチタイムとし、温かいラーメンとおにぎりをいただく。エネルギーを補給したら、大天井ヒュッテに向かって出発する。ここからは表銀座コースを歩いて行くが、白い砂礫の中に可憐なコマクサやタカネツメクサが微笑んでくれる。先行者が白いコマクサを

見つけて教えてくれた。珍しいコマクサを写真に収め、花崗岩の快適な尾根を楽しんで歩く。槍や穂高の眺望は得られないが、花崗岩とハイマツの緑が織りなすコントラストを楽しみながら爽快に歩けた。緩やかに登下降すると、蛙岩の岩峰群に出る。岩塊の割れ目を抜け、正面の岩峰を左手に回り込みな



がら進む。為右衛門吊岩を過ぎ、稜線に出ると、また起伏の少ない縦走路に変わる。短い鎖場を下ると切通し岩の鞍部に降り、右手の岩にこの縦走路の開拓者「小林喜作」のレリーフがはめ込まれている。ここから大天井ヒュッテまでのコースタイムは45分となっており、少し安心して休憩をとる。ところが、ここから大天井ヒュッテまでの道が手強かった。陰しい岩場の連続で、時間がかかってしまう。4時までにはヒュッテに着けそうもないので、K川さんとM館さんが先行して行き、受付を済ませてもらう。4時過ぎにヒュッテに着き、部屋に入って荷物を整理しやっとなり落ち着く。

5時から夕食になり、ビールやワインで乾杯し一日の疲れを癒し、早めに床に就いた。

30日 雨後曇り 大天井ヒュッテからヒュッテ西岳を経由し水俣乗越へ降り、槍ヶ岳登頂を断念しエスケープルートで大曲へ降り、槍沢ロッジから横尾山荘へ

大天井ヒュッテ 6:15～ヒュッテ西岳 9:00/9:20～水俣乗越 10:40～大曲 11:45/12:30～槍沢ロッジ 13:05/13:20～一ノ俣 14:20～横尾山荘 15:10

今日は三日間の中で一番良い天気の予報であったが、雨音が激しく聞こえている。



とりあえず3時に起き、朝食を食べて出発の準備をする。4時まで待つが、雨脚は一向に衰えない。皆に「様子を見て、雨が止んだら出発します」と伝え、布団に入って様子を見る。5時30分を過ぎても雨は止まず、6時には出発すると皆に伝えレインウエアーを着る。宿の主人にパソコンの天気予報を見せてもらうと、槍ヶ岳方面は大雨に対する警戒情報が出ていた。この後いったん雨は上がるが、午後になると再び大雨が降るようだ。皆に状況を説明し、槍ヶ岳への登頂は断念し水俣乗越から槍沢へエスケープし槍沢ロッジか横尾山荘まで下る旨伝え出発する。

ダケカンバ林の巻道を進み、左にお花畑を見ながら進んで稜線に出た所がビックリ平。晴れていれば槍ヶ岳が近くに見え、素晴らしい展望が広がるが、ガスに遮られ何も見えない。雨は止少し前から止んでいて、休憩をとってレインウエアーを脱いだ。

ここからは尾根を歩くようになり、東側は晴れて常念岳や蝶ヶ岳を望むようになる。西側は雲が湧きあがり、何も見えなかった。尾根の東側を歩く時は蒸し暑く、西側



を歩くようになると風が

涼しく感じられる。緩やかに登り下りした縦走路も、赤石岳のピークが近づくと傾斜がきつくなる。赤石岳手前の広場で休憩し、槍ヶ岳山荘にキャンセルのTELを入れる。そして横尾山荘に今夜の予約を入れると、広間の相部屋で良ければOKとの返事で予約した。そうこうするうちに西側が晴れて来て、槍ヶ岳が雄姿を現し歓声が上がります。皆、槍ヶ岳の写真を夢中で撮り、全員で写真を撮ろうとすると雲に隠れてしまった。





ほんの数分間の槍ヶ岳ショータイムだったが、今回初めての槍ヶ岳に皆さん大満足の様子だった。赤石岳から東側斜面のお花畑をトラバースし、お花畑を抜けるとヒュッテ西岳に着く。ここで大休止し、常念岳の展望を楽しみながら朝食の残りを食べる。雨はすっかり上がって青空が見え、槍ヶ岳方面も見通しが良くなってきた。ここから最低鞍部の水俣乗越までは、クサリやハシゴが連続するので慎重に下る。正面には大喰岳から中岳の稜線が望め、素晴らしい展望が得られる。水俣乗越まで1.3Km、標高差210mを無事に下り切り、左に槍沢に向かって降りて行く。

灌木帯の登山道を1時間下ると大曲に出た。沢の脇で大勢の登山者が休んでおり、我々もここでランチタイムとする。ラーメンとパンを食べ、デザートに梨を剥いて食べる。ここからは槍沢に沿ってひたすら下るのみ。ソバナやミノガワソウの花に励まされ、槍沢キャンプ場を過ぎ赤沢岩小舎を見るとやがて槍沢ロッジに着く。ロッジで大休止し、トイレを借りて自販機の冷たい飲み物で喉を潤す。

槍沢ロッジを後にして槍沢沿いに下って行く。

傾斜は緩く軽快に下り、二ノ俣谷を吊り橋で渡り丸太の栈道を抜け、小沢を渡ると一ノ俣谷に出る。一ノ俣出合いからも快調に下り、右手に屏風岩が見えてくると横尾は近い。小沢を渡り、丸太の栈道を2箇所渡ると広く平らな道になり間もなく横尾山荘に着く。横尾山荘で受付をしていると、田中陽希くんが山荘売店に入って来た。カウンター越しに手を振ると、にっこり笑っておじぎしてくれた。この後、K川さんとM喜ちゃんも陽希くんと一緒に写真を撮り大喜びしていた。部屋に入り、荷物を整理して風呂に入る。石鹸・シャンプーは使用できないが、汗を流し湯に浸かるだけでも疲労が回復する。風呂から上がった後、売店脇のテーブルで小宴会。ビールとワインで乾杯し、二日間歩いた山の話や来年の山の話で盛り上がる。7



時から横尾山荘の美味しい夕食をいただき、部屋に戻ってお話をしてから床に就いた。

31日 晴れ 横尾山荘から明神池や上高地を散策し、上高地でお土産を買い岩舟支所へ帰る。

横尾山荘 6:45～徳沢 7:35～明神 8:25/8:45～明神池 9:00/9:15～上高地 10:00/11:00～下牧ドライブイン 11:30/12:15＝岩舟支所 15:45



今日は上高地まで、3時間20分の歩きと上高地散策なのでゆとりがある。朝食も山に登る方が済んでから、ゆっくりいただくことにする。横尾山荘の朝食はとても美味しく、山小屋の朝食とは思えない。

皆さん、お腹いっぱい食べて、準備が出来たら出発する。今日の天気は素晴らしく、屏風ノ頭から前穂の8峰から前穂山頂までくっきりと見えている。SLは最初からグングン飛ばし、先行するパーティを次々に追い抜いて行く。皆も文句も言わず、黙々と歩き徳沢へコースタイムより20分早く着いた。

小休止して水分を補給し、トイレを済ませて明神へ向かった。徳沢からは登って来るパーティが多くなり、そのほとんどが韓国や中国の外国人パーティだ。



明神までも快調に飛ばし、予定よりも早いのでゆっくり休憩し、予約したタクシーに時間変更を連絡した。明神からは右手に進み、明神橋を渡って上高地の奥庭『明神池』に立ち寄る。穂高神社奥宮に参拝し、今回の山行が無事下山出来たことに感謝する。嘉門次小屋の前を通ると、岩魚塩焼きの香りに誘われるが、まだ歩くのでビールはグッとこらえて通り過ぎた。ここからは梓川右岸の上高地自然探勝路をのんびり歩くことにする。明神までの高速歩きと反対に、あまりのゆっくり歩きに「ゆっくり過ぎて疲れちゃう」とダメ出しが出る。樹林帯の中、木道を歩いたり清流の支沢を

いくつか渡る自然探勝路はとても楽しかった。いつもの、時間に追われる下山では、とても味わえない至福の時間を過ごせた。上高地に着くと、梓川の奥に岳沢から奥穂高の絶景が広がり歓声が上がる。河童橋で記念写真を撮り、この後は1時間自由に行動してもらう。我輩はバスターミナルまで行き、トイレを済ませてご褒美のソフトクリームをいただく。上高地の名水をペットボトルに詰替え、帰る支度をしていたら皆さんが集まって来た。皆さんもお土産を買ったり、上高地の名水をペットボトルに詰めたりしていたら、タクシーの運転手さんから TEL が入る。バスターミナルの脇に移動し、2台のタクシーに分乗して沢渡に向かう。沢渡のドライブイン「しもまき」に車が回送されており、「しもまき」でタクシーを降りる。荷物を車に乗せ換え、ドライブインで昼食を食べることにした。温泉も入れるが、今回は昨夜風呂に入れたので家で入ると言うので食事だけいただく。ドライブイン「しもまき」を後にして、一路岩舟支所に向かって出発する。途中、梓川 SA に寄りお土産を買くと、御嶽山山麓の全校生徒15名の中学生が、アルプホルンの演奏会を行っていた。長野道も上信越道も順調に走り、予定より早く無事に岩舟支所に帰着した。

